

産別紹介 ⑬
航空連合

航空連合副事務局長

玉那覇 仁

航空連合は、航空関連産業で働く仲間が大



同団結し、産業の魅力向上と基盤強化に向けて1999年10月に結成されました。現在は59組合、組合員4万8350人からなる航空労働界を代表する最大の産業別労働組合です。

「航空連合ビジョン」に込めた想い

「航空連合ビジョン」は、コロナ禍で非常に厳しい状況に陥った2021年、「いつの時

代も社会から必要とさ

しての役割を発揮し、

働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもっ

て働ける産業」をめざすという強い想いで策定したものです。

「航空連合ビジョン」の実現に向けて

日本経済・社会をリードしていく産業への成長をめざしています。と多岐にわたります。

客室乗務員の職場の声に基づく「撮影罪」の法制化や、空港グランドハンドリング業の多

重受委託構造において適正取引を推進するた

め、それを仲間と協力しながら、みんなでのルールづくりな

ど、その根底には「自分たちのことだけではな

く、社会にとっての価値」を提供する使命があると考えています。

賃上げ要求とその実現も、結果として社会経済の好循環を生み出す役割があります。

このビジョンを実現するため、産業政策と労働政策の連動による「圧倒的な生産性向上」の取り組みに加えて、

「社会インフラ」としての役割を発揮し、働条件の向上に加え、

「ジェンダー平等・多様な推進、産業政策実現」と多岐にわたります。

客室乗務員の職場の声に基づく「撮影罪」の法制化や、空港グランドハンドリング業の多

重受委託構造において適正取引を推進するた

め、それを仲間と協力しながら、みんなでのルールづくりな

ど、その根底には「自分たちのことだけではな

く、社会にとっての価値」を提供する使命があると考えています。

賃上げ要求とその実現も、結果として社会経済の好循環を生み出す役割があります。

航空連合は、産業の持続的な発展と成長に向けて、複雑化・高度化する課題に、働く仲間と一緒に取り組みを進めていきます。

米職場や企業グループ単位を超えて、航空関連産業全体、地域や空港全体の生産性向上をめざす取り組み。

航空連合は、労働組合の価値と社会性の発揮

航空連合は、労働組合の価値を「職場の問

ドハンドリング業の多

重受委託構造において適正取引を推進するた

め、それを仲間と協力しながら、みんなでのルールづくりな

ど、その根底には「自分たちのことだけではな